

## 第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）  
10月上旬までに上記ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと合わせてご活用ください。

～新たな波乱要因に激動する世界のマーケットについてコメントしています。

2007/10/15 「[Market Watching Weekly Market Report](#)」（毎週月曜配信）

掲載カテゴリ： 嶋峰義清の「マーケットウォッチング」

～日銀短観の分析、福田政権で予想される改革や財政のスタンスについてコメントしています。

2007/10/3 「[大企業と中小企業の業況格差の分析](#)」

2007/9/25, 6 「[福田政権の課題・政策姿勢](#)」

掲載カテゴリ： 熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～注目される米国ほか海外経済の情報をお届けします。

2007/10/12 「[海外 経済指標・イベント予定 ” Weekly Global Economy ”](#)」（毎週金曜配信）

掲載カテゴリ： 桂畑誠治の「米国経済を探る」

### 編集後記

ある程度予想はしていたものの、休暇で訪れた地方都市で思いのほか活気のなさを感じた。先の参院選で地域格差が改めて注目を浴びたばかりだ。そう思いながら尋ねた地元のタクシーの運転手によれば、工業団地と道路が整備され、買い物客の足は駐車場のある郊外の大型店に向いてしまったのだという。かつて、目抜き通りに三つあった百貨店は一つを残して店を閉め、周囲の商店で営業しているところもまばらだ。本レポート「中小企業アイ」の橋浦客員研究員とはしばしば語り合うテーマでもある。

公共投資で産業基盤を整えて企業を誘致する。このような試みが日本全国で行われてきた。新幹線を通し、駅を設け、自動車道路を整備し、製造業の工場を呼び込む。しかし、わが国の製造業は現在ではアジアなど海外の生産拠点と産業連関を形成し、グローバルな事業環境に柔軟に対応している。国内工場の新設や稼働計画は、海外拠点や委託先との使い分けで決まる。工場を誘致する側が永遠の企業城下町の夢を抱いているとしたら同床異夢かもしれない。地元の若者は、工場建設に伴う雇用創出や一次的な投資効果で将来にわたっての生活の姿を描くことができるのだろうか。この街の中心部にはあまり恩恵はなかったように見えた。

様々な年代、多様な職種の定住者の生活の拠点となれば、小売やサービスの店舗、医療や介護のための施設も設けやすい。その点海外に比べ生産性が低いと指摘される第三次産業の再生から手をつけることに何か解決の糸口があるのではないかと思う。

街の郊外にある温泉のかつて一軒宿だったところに宿泊した。二年前に団体客相手の営業をやめ、部屋ごとにほぼ貸しきりの温泉と名物の食材を売り物にしたプチ・リゾートホテルにリノベーションした。街の老舗食材店によるこの企画は成功し、インターネット経由の申し込みで数ヶ月先まで予約は満杯である。

(H. U)